

【授業科目】慢性看護学演習 I (慢性期の理論) Advanced Seminar of Chronic Illness Nursing I

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
杉崎一美	1年次前期	選択	2	60	演習	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	慢性的な健康問題(がんを含む)をもつ患者と家族における苦悩を理解するための理論を活用した研究論文を検索し、看護実践に応用する能力を学修する。 課題に対するフィードバック方法/プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。					
授業の位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ul style="list-style-type: none"> ① 慢性的な健康問題(がんを含む)をもつ患者と家族に関する文献を精読する。 ② 慢性的な健康問題(がんを含む)をもつ患者と家族における理論を活用した看護援助について説明できる。 ③ 慢性的な健康問題(がんを含む)をもつ患者と家族への看護実践について述べるができる。 					
時間外学習に必要な内容・時間	<p>事前学習は各回に関係する文献を読んでおく(2時間)。事後学習は学んだ理論・概念を用いて事例を展開し、学びを応用に結び付ける(2時間)。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>					
授業計画	<p>第1回 慢性疾患患者・家族の苦悩</p> <p>第2,3回 慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論(セルフケア)</p> <p>第4,5回 慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論(症状マネジメント)</p> <p>第6,7回 慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論(セルフエフィカシー)</p> <p>第8,9回 慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論(アドヒアランス)</p> <p>第10,11回 慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論(アンドラゴジー)</p> <p>第12,13回 慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論(患者教育)</p> <p>第14,15回 慢性的な健康問題をもつ人々への支援技術(退院支援)</p> <p>第16,17回 慢性的な健康問題をもつ人々への支援技術(療養の場における調整・支援)</p> <p>第18,19回 慢性的な健康問題をもつ人々への支援技術(地域包括ケアシステム)</p> <p>第20,21回 慢性的な健康問題をもつ人々への支援技術(就労支援)</p> <p>第22,23回 慢性的な健康問題をもつ人々の倫理的課題(意思決定支援1)</p> <p>第24,25回 慢性的な健康問題をもつ人々の倫理的課題(意思決定支援2)</p> <p>第26,27回 慢性的な健康問題をもつ人々のエンド・オブ・ライフケア 1</p> <p>第28,29回 慢性的な健康問題をもつ人々のエンド・オブ・ライフケア 2</p> <p>第30回 慢性的な健康問題をもつ人々への看護の展望</p>					全て杉崎
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション、レポートなどによって総合的に評価する。					
教科書	教科書は指定しない。 適宜、資料配付や文献を紹介する。		参考書等	適宜、講義内で紹介する。		